

# 学体連会報

発 行 所

発行日・昭和55年6月30日  
東京都渋谷区代々木神園町3番1号  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
財団法人日本学校体育研究連合会  
編集責任者 理事長 重田 一

転 換

会長 大石三四郎

人間は自分の今までやってきたことを変えるということはなかなか難しい。殊に財務収入の方策を転換するとなると大変である。時には、その家族全体の生命に危険を及ぼす。

まして、組織の収入源の転換ということとは並たいていではない。しかも、その業務をそこなわずその組織を破壊しないようにすることは、至難中の至難と言わなければならない。

今や、この日本学校体育研究連合会はその転換の方策を探っているところである。

したがって、一度中断しようとした研究助成を補正予算を組むことで続行することにした。しかし、その金額たるや従前のものと比べて3分の2である。増額したいと思うが、元来が基金のある財団ではない。あるのは私の企画力だけである。だが近い中に増額したい。

機関誌をやらうと言い出せば危ないという。しかし、やらないわけにはいかない。そこで次善の策として「新小学校体育全集」

をやることにした。しかし、それが収入になるには年数がある。そこで、考え出したのが、「こどもと親の体育シリーズ」だ。

「お菓子とこども」、「自転車とこども」、「こどもと靴」、「傷害とこども」、「スピードとスポーツ」、「ウエアとスポーツ」、「水とこども」、「目とスポーツ」、「山とスポーツ」、「海とスポーツ」、「川とスポーツ」、「スポーツと障害児」……というような題目でA5判の写真と絵入りの親子向けの保健体育の読みものである。

そして、この「こどもと親の体育シリーズ」を試み、そして「新小学校体育全集」次に、月刊の雑誌など体育・スポーツ、保健の出版を考えている。

さらにできれば事業部を創って何か品物を紹介し、というように収入の道を考えて、……と各地方に送る研究費を増額したい。これが私の夢である。

(筑波大学名誉教授・国立特殊教育総合研究所長)

全国評議員会・理事会

( 報 告 )

昭和55年4月26日、国立オリンピック記念青少年総合センター研修館第702号室において開催した。当日は、全国各地から多数ご出席いただき、昭和55年度事業計画および収支予算案の審議を始め、学体連の組織運営に関する課題について、終始熱心な協議を経て、予定の議事をご承認願ひ、本年度の発足に備えることができました。

以下、当日決定された主たる事項を記し、ご報告いたします。

1. 昭和55年度事業計画

1. 第19回全国学校体育研究大会

昭和56年1月20日(火)・21日(水) 東京都において開催

2. 第30回全国保健体育優良校・第10回体育功労者表彰

昭和56年1月20日(火)午前10時より。第19回全国大会の開会式に続いて行う。

3. 第10回全国学校体育指導者講習会

会場 東京都 8月27日

4. 助成事業

(1) 全国大会研究調査助成 (2) 学校体育研究の作成

(3) 研究助成については、その復活について本部に一任した。補正予算書別途送付す。

5. 加盟分担金の納入について

加盟分担金は、昭和54年度全国評議員会・理事会において従前の額より倍額にすることに承認されておりますことは、第4号学体連会報によってご了承いただいたと存じております。

つきましては、年度早々で恐縮ですが、なるべく早い時期に本部あて納入下さいますようお願いいたします。

6. 当日は、以上のほか、昭和54年度事業および会計報告、役員等の選任などが承認されましたが、内容は省略いたします。

2. 昭和55年度収支予算書

収入の部

財団法人 日本学校体育研究連合会

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 △	摘 要
1.分 担 金 等	1,565,000	2,610,000	△1,045,000	
(1)加盟団体分担金	1,220,000	610,000	610,000	(30,000×4+20,000×7+10,000×35)×2
(2)賛 助 会 費	345,000	2,000,000	△1,655,000	
2.基 金 収 入	860,000	650,000	210,000	
(1)基 金 収 入※	860,000	650,000	210,000	定期預金利子
3.事 業 収 入	151,000	180,000	△ 29,000	
(1)講 習 会	150,000	180,000	△ 30,000	受講料(3,000×50)
(2)図 書 出 版	1,000	0	1,000	新規科目
4.寄 附 金	6,800,000	16,000,000	△9,200,000	
(1)一 般 寄 附※	6,800,000	16,000,000	△9,200,000	
5.補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	
(1)ス ポ ー ツ 財 団 補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	水野スポーツ振興会より
6.雑 収 入	364,443	350,000	14,443	
(1)雑 収 入	364,443	350,000	14,443	普通預金利子・会報広告賛助料等
7.繰 越 金	1,002,557	500,000	502,557	54年度より繰越
合 計	11,743,000	21,290,000	△9,547,000	

支出の部

1.事 務 費	4,253,000	7,850,000	△3,597,000	
(1)通 信 電 話 料	450,000	462,000	△ 12,000	切手・はがき・電話料など
(2)旅 費 交 通 費※	500,000	696,800	△ 196,800	常務理事・理事・評議員等交通費・職員定期代
(3)消 耗 品 費	150,000	150,000	0	用紙類・事務用品・封筒他
(4)印 刷 費	250,000	250,000	0	各種印刷
(5)什 器 備 品 費	1,000	30,000	△ 29,000	科目存置
(6)人 件 費※	2,010,000	5,330,000	△3,320,000	職員1名(140,000×14)臨時50,000
(7)会 議 費	80,000	80,000	0	常務理事会等食糧費
(8)賃 借 費※	672,000	672,000	0	事務室使用料(56,000×12)
(9)雑 費	50,000	59,200	△ 9,200	
10委 員 会 費※	60,000	80,000	△ 20,000	各委員会食糧費
(11)渉 外 費	30,000	40,000	△ 10,000	
2.事 業 費※	4,650,000	8,210,000	△3,560,000	
(1)学 校 体 育 助 成 事 業	2,250,000	5,880,000	△3,630,000	
1)研究学校助成費	0	3,290,000	△3,290,000	
2)研究調査助成費	0	390,000	△ 390,000	
3)全 国 大 会 研 究 調 査 助 成 費	1,500,000	1,500,000	0	55年度1,000,000 56年度500,000
4)「学 校 体 育 研 究」作 成 費	750,000	700,000	50,000	印刷・配送費・執筆謝金
(2)優 良 校 ・ 功 労 者 表 彰 費	1,700,000	1,600,000	100,000	表彰状・盾・バッヂ・表彰報告印刷他
(3)講 習 会 費	150,000	150,000	0	会場費・講師謝金・要項印刷・運営雑費
(4)研 究 大 会 費	150,000	130,000	20,000	本部役員交通費等
(5)会 報 費	400,000	450,000	△ 50,000	印刷・発送費
3.団 体 加 盟 費	40,000	30,000	10,000	
(1)加 盟 費	40,000	30,000	10,000	日本教育研究連合会・青少年育成国民会議
4.積 立 金	500,000	500,000	0	職員退職手当引当金
5.予 備 費	200,000	200,000	0	
6.次 年 度 へ 繰 越	100,000	500,000	△ 400,000	
7.基 本 財 産 繰 入	2,000,000	4,000,000	△2,000,000	
合 計	11,743,000	21,290,000	△9,547,000	

※印 一般・特別会計の合計額

昭和55年度保健体育優良校  
体育功労者表彰要項(抜粋)

本年度の表彰要項は、已に全国都道府県加盟団体に発送しました。各加盟団体におかれ  
ては、それぞれ推せん委員会において、候補者の選定を進められることと存じますが、ここ  
に改めて要項の抜粋を記して、いっそうのご理解、ご協力をお願いいたします。

記

1. 表彰式 昭和56年1月20日(火) 全国学校体育研究大会の開会式に続いて実施(東  
京都渋谷区公会堂にて)

2. 推せんの限度

- (1) 優良校 各都道府県3校まで。但し、東京都、特に希望する政令都市をもつ道府県  
は4校まで。
- (2) 功労者 各都道府県3名まで。但し、東京都6名、特に希望する政令都市をもつ道  
府県は4名まで。

3. 推せんの手続き

- (1) 各都道府県ごとに推せん委員会(10名以内)をつくり、優良校及び功労者の候補を  
決定する。
- (2) 9月30日(火)までに優良校、功労者の推せん理由書および推せん委員会名簿、推  
せん一覧を学体連事務局宛送付する(所定用紙使用)。万一期限内に送付できない場合  
は、早目に文書をもって連絡すること。

4. 表彰校・功労者の決定および通知

中央審査委員会は10月30日(木)までに優良校・功労者を決定し、各都道府県の推せん  
委員会に通知する。

5. 優良校として表彰が決定した学校の提出を要する事項

- (1) 保健体育に関する研究のうち、次の研究内容を400字詰原稿用紙5枚以内にまとめ  
て11月20日(木)までに学体連事務局宛提出する。  
①研究学校名、②研究者氏名、③研究題目、④研究目的、⑤研究対象・人員、⑥研究  
方法、⑦研究内容、⑧結果の処理および活用、⑨結果の反省
- (2) スポーツテスト(体力診断テスト、運動能力テスト)を実施して、その結果を11月  
20日(木)までに学体連事務局宛送付する。

第19回全国学校体育研究大会について

理事長 重田 一

昭和55年度に行う第19回全国学校体育研究大会は、間もなく要項ができあがりませんが、とりあえず、その要点  
をお知らせいたします。

- 1. 期 日 昭和56年1月20日(火)、21日(水)
- 2. 会 場 全体会場 東京都 渋谷公会堂(東京都渋谷  
区宇田川町1~1)  
電話 03-463-1211  
分科会場 幼稚園、小・中・高・心身障害学  
校別に会場を設ける。
- 3. 参加者 学校体育指導者および保健体育行政機関関係  
者並びにこれに準ずる者
- 4. 研究主題 「望ましい態度・習慣の育成をめざして」
- 5. 日 程

日 時	9:30	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00
1月20日(火)	受付	開会式 表彰式	講 話	昼 食	講 演	シンポ ジウム
会場	渋谷公会堂					
日 時	9:30	12:00	13:00	15:00		
1月21日(水)	受付	研究発表 研究協議	昼 食	研究発表 研究協議	閉 会 式	
会場	各発表会場					

- 6. 研究発表
  - (1) 発表者 全国から募る。
  - (2) 発表人員 幼稚園、小・中・高校、養護  
学校別に、5名以内。  
従って、全国で25名以内。
  - (3) 主 題 「学校体育(体育の授業・部  
活動・保健学習・保健指導を通  
して……と解してよい)の効果  
的指導法 特に望ましい態度・  
習慣の育成をめざして」
  - (4) 応募申込み  
ア 研究概要 2,000字以内に研究の概要を  
まとめたものをもって審査・  
選定する。  
審査・選定は、学体連研究委  
員会が当たる。

- イ あて先 応募申込みのあて先は次の通  
り。  
〒151 東京都渋谷区代々木神園町3の  
1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
(財)日本学校体育研究連合会  
理事長 重田 一 あて  
ウ 締 切 り 昭和55年10月20日(月)
- (5) 発表者決定通知 締切り次第通知する。
- (6) 研究助成 発表決定の個人またはグループ  
に対して、研究補助金6万円を支  
出する。
- (7) その他 発表時間、原稿の枚数その他  
は、発表者決定次第通知する。
- 7. 分科会講師 発表者決定次第速やかに決定、  
公表する。

8. 参加申込み

- (1) 参加申込期限 昭和55年11月20日(木)
- (2) 参加申込方法  
ア 各都道府県教育委員会は、参加申込者及び  
参加費をとりまとめ別紙申込書により、下記  
に申込む。

記

〒151 東京都渋谷区代々木神園町3の  
1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
(財)日本学校体育研究連合会  
理事長 重田 一 あて  
電話 03-465-3954  
7464

普通預金口座

参加費は現金書留または振込みで送られ  
たい。

イ 東京都内参加者は、幼稚園、小・中・高・  
心障の研究団体ごとにとりまとめ8の(2)の  
アに申込む。

- (3) 大会事務局 8の(2)のアが事務局となる。
- 9. 参加費 1名につき3,000円  
紀要の追加希望者は、1冊2,000  
円  
参加申込み後の参加取消しにつ  
いては返金しない。(紀要を送付す  
る。)

なお、昭和56年度第20回大会は、大阪府で開かれることが決定しております。

第21回大会以後の開催県を求めています。ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

以上

## 昭和55年度全国学校体育指導者 講習会について

本年度の事業計画に示した標記講習会は、「体育学習の効果的指導法——特に望ましい態度・習慣の育成を目指して」を主題として予定しました。つきまして、現下児童・生徒の実態に鑑み、体育指導においても上に掲げた主題の趣旨実現のため大いに研究、工夫が迫られております。本講習会はそのような学校体育の現場課題解決の一助として、斯界の高名、練達の先生方を講師として実施いたします。夏季休暇中ではありますが、ふるってご参加下さるようお願いいたします。

### 記

1. 名 称 全国小学校体育夏季講習会
2. 主 催 財団法人 日本学校体育研究連合会
3. 期 日 昭和55年8月27日(水) 午前9時～午後4時
4. 会 場 東京都立富士高等学校 東京都中野区弥生町5-21-1  
(地下鉄中野富士見町駅下車徒歩3分)  
電話 03(382)0601-2
5. 講習会の主題 体育学習の効果的指導法——特に望ましい態度・習慣の育成を目指す指導の在り方について
6. 主題の趣旨 近時小学校の児童の体格、体力は著しく発達していることは周知の事実であります。これらのことは、特に学校体育にたずさわる諸先生方のご努力の賜であることは論をまたないと考えます。しかし、一面体育指導の現状をみると、体力や運動技能の向上をはかることに重点がおかれるあまり、体育の目標に示されてある「望ましい態度・習慣を養う」ことには、必ずしも十分な指導上の配慮がなされていないのではないかと考えられる傾向がみられます。特に最近の低年齢層の非行多発を考えると、かの有名なユベナリスの「健全な身体に健全な精神が宿れかし」と言った言葉が今日にして痛烈に感ぜざるを得ません。このようなことから学体連では、この問題解決の一助として、上に掲げた主題のもとに全国小学校体育夏季講習会を計画いたしました。奮って多数ご参加下さい。

7. 講 師 望ましい態度・習慣の育成のシステム化  
(財)日本学校体育研究連合会会長  
国立特殊教育総合研究所長 大石 三四郎  
体育実技における望ましい態度・習慣の育成  
東京女子体育大学教授 遠山 喜一郎  
基本の運動における効果的指導法  
東京都立教育研究所主任指導主事 加室 一 臣  
ゲームにおける効果的指導法  
東京都立教育研究所指導主事 藤崎 敬
8. 日 程 受付 午前9時～9時30分 理論 9時40分～10時40分  
理論 10時50分～11時50分 昼食 12時～午後1時  
実技 午後1時～1時50分 実技 午後2時～午後4時
9. 申込期日 昭和55年8月20日
10. 申込先 ☎150 東京都渋谷区代々木神園町3番1号  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
(財)日本学校体育研究連合会事務局  
電話 03(465)3954
11. 会 費 1,500円 当日会場受付にて納入のこと。

### ATA主催のテーピング・トレーナーズ 講習会のお知らせ

米国からR.F.マラクレア氏とD.ダロベック氏の両指導者を招き、昭和55年7月19日(土)より23日(水)の5日間、神奈川県横須賀市にある国立特殊教育総合研究所の研修棟を会場に開催される予定です。

今回は障害者体育への応用を含めて、特色あるものになりそうです。

<問い合わせ先>

☎470-03 豊田市貝津町床立101 電話 0565(45)0971

ATA理事長 本間 幸雄

## 評 議 員 一 覧

都道府県名	氏 名	勤 務 先 職 名
東 京	沼 舘 定 康	世田谷区立砧小学校長
神 奈 川	高 橋 信 勝	県立茅ヶ崎北陵高等学校教諭
〃	斉 藤 正 三	神奈川県立体育センター
千 葉	石 川 恒 雄	県教育庁体育課学校体育係長
埼 玉	前 田 耕 平	県立浦和高等学校長
群 馬	福 島 広 司	県立中之条高等学校長
栃 木	沼 尾 省 治	今市市立豊岡中学校長
茨 城	海老原 利 彦	県教育委員会体育課学校体育係長
山 梨	小石沢 正	塩山市立塩山中学校長
長 野	大河内 一 樹	高遠町立高遠小学校長
新 潟	川 井 定 雄	長岡市立山本中学校長
石 川	羽 柴 清 信	金沢市立額小学校長
福 井	川 上 正 博	武生第一中学校長
岐 阜	横 井 宣 生	県立高津高等学校長
静 岡	杉 山 繁	静岡市立長田西中学校長
愛 知	松 本 昱 郎	春日井市立味美小学校長
三 重	大 内 武	伊勢市立修道小学校長
滋 賀	横 田 證 真	五個荘町立五個荘小学校長
京 都	井 上 淳 三	京都市立柏野小学校長
大 阪	平 石 亮 三	府立北野高等学校教諭
〃	尾 崎 弘 明	府立岸和田高等学校長
兵 庫	山 田 忠 一	明石市立大久保中学校長
〃	沢 村 太 郎	兵庫県教委体育保健課学校体育係長
奈 良	土 谷 正 規	奈良女子大学文学部付属小学校教諭
和 歌 山	加 藤 晃	和歌山市立宮小学校教頭
島 根	渡 辺 春 夫	島根県教育庁保健体育課長
岡 山	岡 田 政 敏	県立岡山南高等学校長
広 島	広 川 義 信	皆実高等学校長
山 口	藤 沢 菊 治	山口県教育委員会保健体育課長
徳 島	松 浦 道 雄	徳島市徳島中学校長
香 川	光 藤 芳 夫	県立高松高等学校長
愛 媛	藤 原 建 樹	西条市立南中学校長

都道府県名	氏 名	勤 務 先 職 名
高 知	前 田 幹 夫	高知大学教育学部教授
福 岡	大 石 英 幸	県立城南高等学校教諭
〃	森 武 彦	福岡市立美和台小学校長
佐 賀	山 口 保	佐賀市立城南中学校長
長 崎	藤 田 茂 幸	長崎県教育委員会体育保健課長
熊 本	道 田 繁 久	熊本市立砂取小学校長
大 分	橋 本 清	大分市立植田中学校長
宮 崎	濱 田 宣 弘	県立宮崎南高等学校長
鹿 児 島	北之園 達 之	鹿児島市立鹿児島女子高等学校長
沖 縄	知 念 清	中城村立津覇小学校長
北 海 道	川 田 正 徳	北海道女子短期大学教授
〃	笈 川 定 男	札幌市立西陵中学校長
青 森	新 岡 精 弥	県立青森西高等学校長
岩 手	坂 本 弘 泰	県立雫石高等学校長
宮 城	洞 口 六 夫	宮城教育大学助教授
秋 田	岩 谷 文 雄	県立西仙北高等学校長
山 形	河 田 利 夫	県立天童高等学校長
福 島	遠 藤 辰 雄	福島大学教育学部教授

## 学 体 連 の 近 況

1. 「現代小学校体育全集」(仮称)の刊行を目下精力的に編集を進めております。できるだけ各地区の多くの先生方にご執筆を依頼する予定ですので、その節はよろしくご協力下さい。
2. 「親と子の健康とスポーツ」(仮称)の刊行を準備しております。最近の幼児、児童、生徒の生活実態から見て、手短かで理解し易い、実践的な学校、家庭での指導の手がかりを集録したいと考えております。刊行の節はよろしくお願いたします。資料等参考になるものがありましたらお送り下さい。
3. 機関誌(体育雑誌)の刊行。昭和55年度の全国評議員会で慎重調査の上実施せよとの意見もあり、今年はこれが実施のための調整、準備活動を進めます。

学体連は多年にわたり、多額な寄附金などによって学体連の事業遂行に多大なる貢献をした明石被服興業株式会社、日本教育シューズ協議会、児島株式会社、株式会社グリーンメイトの四社を4月27日の評議員会に先立って表彰を行いました。表彰状の写しを下記のとおり記載いたしましてご参考に供します。



